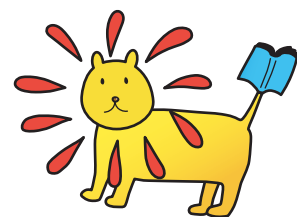


りぶらサポータークラブ 平成 24 年度 活動報告書



平成 25 年 3 月
りぶらサポータークラブ



りぶらいおん©LSC



りぶらサポータークラブ平成 24 年度 活動報告書

平成 25 年 3 月

りぶらサポータークラブ

〒 444-0059 岡崎市康生通西 4 丁目 71 番地

岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内

TEL : 0564-23-3114 FAX : 0564-23-3142

info@libra-sc.jp <http://www.libra-sc.jp>

目 次

ごあいさつ	・・・ 2
りぶらサポータークラブの沿革	・・・ 3
平成 24 年度の事業一覧	・・・ 5
平成 24 年度事業報告	
会議	・・・ 6
りぶらフォーラム	・・・ 7
広報	・・・ 8
りぶらまつり	・・・ 10
岡崎図書館未来企画	・・・ 12
サポーターシステムを考える会	・・・ 13
岡崎市生涯学習シンクタンク	・・・ 14
シネマ・ド・りぶら	・・・ 16
りぶら いきものみつけ隊	・・・ 18
冬のコンサート	・・・ 19
外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会	・・・ 20
りぶらを活用	
地域活動の心得を学ぼう	・・・ 22
大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会	・・・ 23
平成 25 年度の運営方針	・・・ 24

ごあいさつ

平成 20 年に発足して 5 年、「りぶらサポータークラブ」という名前や活動は、少しずつ皆さんにわかっていただけるようになってきました。それは、広報誌“Libra l on”の発行部数にも表れてきています。岡崎市図書館交流プラザの目的と協働しながら、市民主体とした文化発信・生涯学習・図書館充実・地域発展につながる事業を展開しようと、一歩ずつ歩んできました。

24 年度は、一歩踏み出ただけでなく、もっと多くの方にりぶらを活用していただけるよう、“りぶらまつり”のテーマとして、「おいでん!りぶら、行こまい!りぶら」と呼びかけることもしてきました。

図書館活用・文化・交流を目的とした「シネマ・ド・りぶら」には多くの方の参加があり、1 日 2 回の上映に発展しました。また、「りぶら いきものみつけ隊」では、毎月楽しみにして参加する親子でにぎやかです。単発のイベントではなく、継続していくことにより、理解と充実が図られていると思います。また今年度は、「Linra l on」の取材から企画された、図書館の「本の清掃」を加えることができました。近くの方が気軽に参加できる、継続したボランティア活動として定着しつつあります。

担当課と協働して、市に登録している市民講師と市民の学習機会の拡充のために企画された「りぶら講座」は、講師や市民に大変好評でした。図書館を核とした生涯学習を支援する目的で活動しているサポータークラブとしては、これをさらに充実させたいと願っています。また、市民がお互いに教え、教えられる生涯学習が市内に根付き、発展していく予感がします。

また今年度、その時々の問題に対応して臨機応変に事業を実施できる「りぶらサポータークラブ」ならではの企画がありました。岡崎ではなじみのなかった“狂言”を学習・鑑賞することができました。一流の方の話と演技に、ホール全体が笑いに包まれ、来年度へとつながる機運が生まれました。

24 年度の成果を踏まえ、多くの方の意見を聞きながら、25 年度も市民や行政の適切なサポートができるよう、充実した活動を目指したいと思います。



りぶらサポータークラブ
代表 山田美代子



利益＝協働による活性化と発展
顧客＝りぶらの利用者

↓

利用者の喜び

↓

目的の実現

↓

委託者である行政の満足

注意すべきこと

↓

行政の下請けにならない --- おおいを立てない
圧力団体にならない --- 一方的に押さない
お客様にならない --- お膳立てを要求しない
評論家にならない --- 知らない、
わからない、
を当然としない

協働による市民交流の
活性化・生涯学習の発展

顧客への価値提供
市民・市民活動団体

委託者への価値提供
行政・賛助会員など

組織内の日常的なプロセス
(獲得・提供・開発・保守)
調査・研究活動、事業の企画・運営、
人材および活動の育成、広報と情報提供、
個人および市民活動団体・企業と行政との交流と事業連携、
行政業務の支援及び提言と評価

人的資源
理解した人

組織資源
共有の仕組み

情報資源
目的の成文化

活動テーマ「おいでん！りぶら、行こまい！りぶら」

区分	事 業		活動主体	担当
運 営	運営会議		運営委員	山田
	会員研修		役員	
	広報	情報誌編集（奇数月1日発行）	事務局	戸松
		ホームページ運用・更新		
		りぶらグッズ		
	りぶらフォーラム		運営委員	内田
	りぶらまつり		実行委員	杉浦
	りぶらサポーターシステムを考える会		研究プロジェクト	山田
活 用	岡崎図書館	ブックレビュー・調べ学習	研究プロジェクト	戸松
	未来企画	書架整理・本の清掃	実行委員・まちびとバンク	山田
	生涯学習	シンクタンク	研究プロジェクト	戸松
		はじめましてサロン	シンクタンク実行委員	
		りぶら講座	シンクタンク実行委員	
	シネマ・ド・りぶら		実行委員	森崎
	りぶら いきものみつけ隊		実行委員	杉浦
	冬のコンサート		運営委員	山田
	外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会		実行委員	戸松
	りぶらを活用	地域活動の心得を学ぼう	運営委員	
			狂言勉強会・鑑賞会	運営委員
参 画	子ども遊びワークショップ		総務	山田
	七夕飾り		総務	
	図書館まつり		図書館まつり実行委員会	
派 遣	図書館交流プラザ運営協議会		山田・森崎	
	図書館協議会		戸松	
	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		村松	

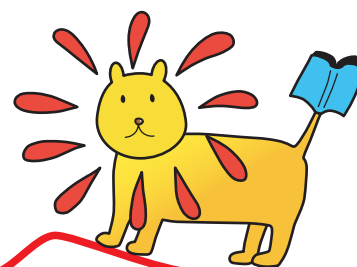
会 議

総会
日時： 5月19日(土) 13:30~14:30
場所： 会議室 103

サポーター研修会
日時： 5月19日(土) 14:30~15:50
場所： 会議室 103
内容： 詳細は、下記のホームページをご参照ください。
<http://www.libra-sc.jp/news/2012052515145647.html>

運営委員会

開催日	時 間	内 容
4月20日(金)	18:30 ~ 20:40	図書館まつり・公募協働事業について
5月11日(金)	18:30 ~ 20:30	公募協働事業・総会について
5月27日(日)	13:30 ~ 16:30	りぶらまつり 2012 準備会
6月5日(木)	18:30 ~ 19:45	りぶらまつり説明会・りぶら講座について
7月10日(火)	18:30 ~ 19:45	りぶらまつり・図書清掃について
8月7日(火)	18:30 ~ 20:30	りぶらまつり・「りぶらを活用」について
9月4日(火)	18:30 ~ 20:30	りぶらまつり・シネマ上映会について
10月9日(火)	18:30 ~ 20:30	りぶらまつりについて
11月6日(火)	18:30 ~ 20:15	りぶらまつり・冬のコンサート・のど自慢大会・フォーラムについて
12月14日(金)	18:30 ~ 20:30	事業の棚卸し・狂言教室について
1月25日(金)	18:30 ~ 20:30	のど自慢大会・狂言教室・フォーラムについて
2月15日(金)	18:30 ~ 20:00	狂言教室・フォーラム・会員について
3月15日(金)	18:30 ~ 20:10	狂言教室・次年度事業・次年度予算・会則の改正について



りぶらいおん©LSC

りぶらフォーラム

「りぶら講座」から始まるりぶらの使い方 ～使わにゃソン、ソン！りぶら5段活用術～

日 時：3月3日（日）13:00～15:00

場 所：りぶらホール

参加者 36 名

りぶら講座を中心に参加者とともに

中心となるテーマは、2012 年度からスタートした「りぶら講座」。基盤となっているのは、岡崎市が策定した「第二次生涯学習計画」にある「持続可能な学びのサイクルの実現」です。この計画は平成 23 年度～32 年度までの 10 年間で取り組むもので、「りぶら講座」は、これを具体的な事業とするために企画されました。LSC は実行のパートナーとして講座の運営を担ってきました。

この一年で、前期・後期あわせて 105 の講座が設けられ、この日までに 1,253 人の受講者があり、参加者の反応も「とても良かった」が 75%となかなか好評でした。この日も講座で講師を務めた方や実際に受講した皆さんが顔を出して下さいました。継続開催を望む声も半数以上あり、「受講して良かった」が大半を占めたことから、次年度も開催することが決まっています。

フォーラムは、総合館長である米津氏の挨拶を得て、メインのパネルディスカッションへ。パネラーは、「りぶら講座」の市の担当職員である早川氏、運用上の管理を請け負っている「まち育てセンター・りた」の鈴木さん、図書館職員である今泉さん、そして LSC の副代表である杉浦の 4 人です。司会とコーディネイトは LSC 顧問の戸松が務めました。

パネルディスカッションに先立って、りぶら講座の様子をスライドショーを交えて紹介しました。また、できるだけ肩の凝らない雰囲気の中で、立場や肩書きなどに縛られずに自由な発言をしていただこうと、いくつかのルールを示しました。参加者の皆さんにも質問用紙を配布し、パネルの進行に合わせてご意見をいただける環境を整えました。



緩やかな対話から自然に意義深い内容へ

りぶらフォーラムのパネルディスカッションでは、ダイアログ（対話）という手法を使っています。テーマは決めておきますが、明確なゴールは決めません。それぞれがお互いの発言に触発されて自由に生み出す情報を、ゆっくりと重ね合わせながら、相互に関心を持っている内容へと迫っていきます。毎回、何が飛び出すかわかりませんが、自然に意義深い内容になっていくから不思議です。

この日も、皮切りはパネラーからの「りぶら講座」に対する思いや、開催中に経験をしたことなどが紹介され、だんだんとテーマの核心に近づいていきました。今回のパネルで特徴的だったのは、会場からかなり踏み込んだ具体的な発言があったことです。質問者の多くは講座で講師を務めた方々で、実際的な課題を共有しながら話し合いを進めることができました。

参加者の感想

「教える側の講座」開催を期待しています。講師の責任を痛感しました。「りぶら講座」以外のことも知ることが出来た。

受講者の熱心さに驚いている。受付の方に感謝している。10 年先を見据えて、慌てずに続けるのが大事。昨年のパネル展示もやってほしかった。

自分次第で、りぶらがワクワクする場所として活用できるというのは、素晴らしいことです。これからも足を運びたいし、周りにも広めていくつもりです。

「りぶら講座」のことを知らない人が多かった。図書館に来ないとわからないではいけない。チラシをいろいろな場所に置いたらよいと思う。受講者の感想を知りたい。

「講師も学びの参加者」という考え方が新しいと思う一方、大学生・大学の学びと通じるものがあると思った。「高校生向け」の試みがよい。そこに図書館との連携があったらいいと思う。「図書館利用への動機付け」の推進には賛成です。

半学半教が大切（先輩が後輩を教え学ぶ）。自らが進んで積極的に参加する行動力。前向きな考え方をもち、言うだけでなく、実践することが大切。自ら求めるということが重要。

今日は大変良い勉強になりました。今後活用していきたいと思います。

広 報

事業の目的

- ・ りぶらと LSC 活動の情報発信、および活動の可視化。
- ・ りぶらサポータークラブの周知活動。

活動実績

- ①情報誌の制作・発行：年 6 回 発行部数：1,000 部
- ②ホームページの更新：随時
- ③ホームページのリニューアル
- ④トートバッグの再販

事業の成果

- ①情報誌に「りぶらサポーター」紹介を連載し、活動の周知をした。
- ②発行部数が 700 部から 1,000 部に増えた。
- ③「あおい号」の取材から、本の清掃のボランティア事業に発展した。
- ④ HP をリニューアルし、より親しみやすくアクセスしやすいページになった。昨年度より、倍以上のアクセスがあった。

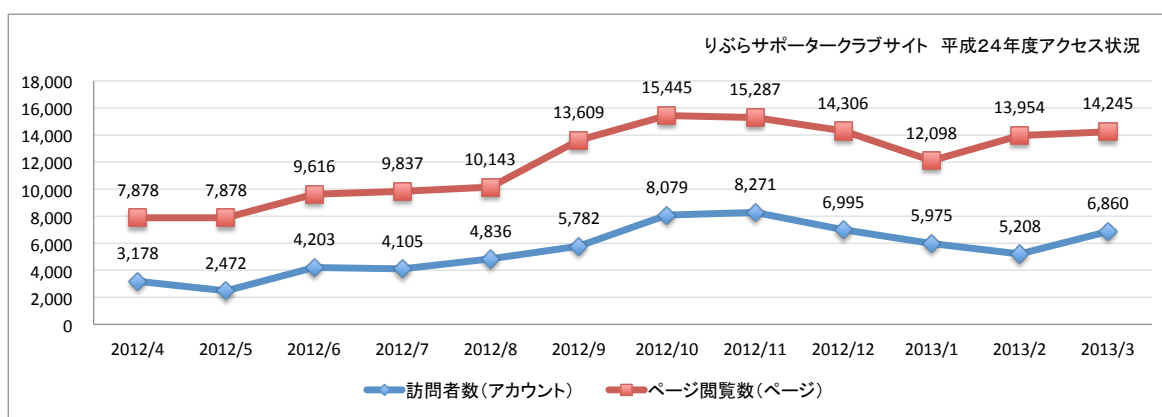
平成 25 年度の展開

- ①編集員の養成に力を入れる。
- ②情報誌の内容充実を図る。



平成 24 年度 LSC ホームページアクセスデータ 月別合計

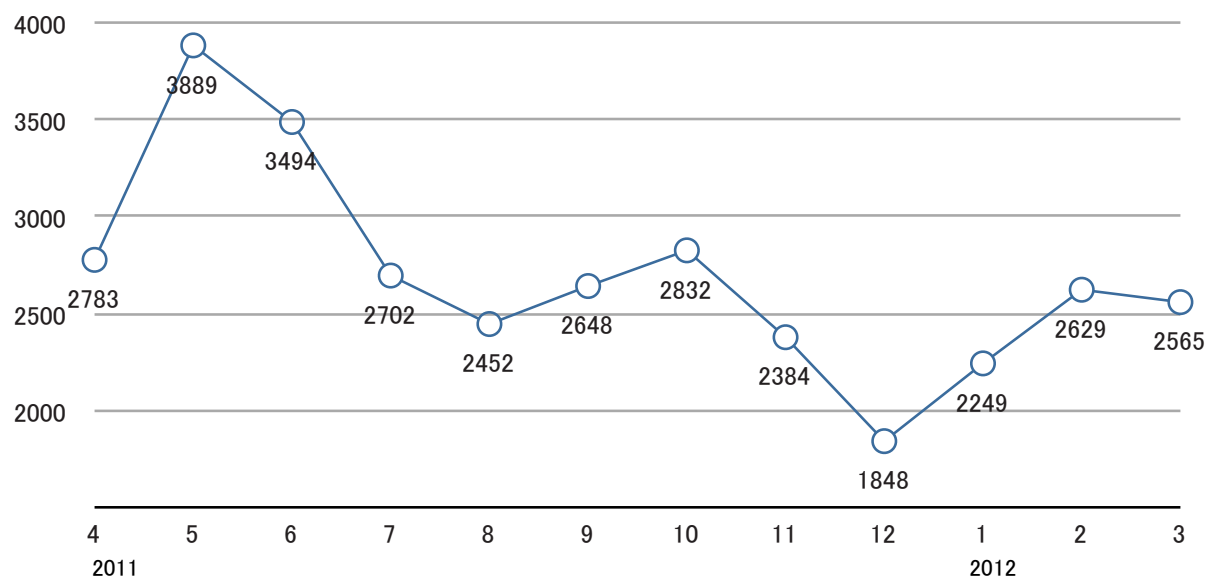
年月	訪問者数(アカウント)	ページ閲覧数(ページ)
2012/4	3,178	7,878
2012/5	2,472	7,878
2012/6	4,203	9,616
2012/7	4,105	9,837
2012/8	4,836	10,143
2012/9	5,782	13,609
2012/10	8,079	15,445
2012/11	8,271	15,287
2012/12	6,995	14,306
2013/1	5,975	12,098
2013/2	5,208	13,954
2013/3	6,860	14,245



平成 23 年度 LSC ホームページアクセスデータ 月別合計

	2011												2012		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
訪問者数	2,783	3,889	3,494	2,702	2,452	2,648	2,832	2,384	1,848	2,249	2,629	2,565			
閲覧ページ数	7,051	15,664	10,355	6,416	6,563	6,490	6,084	5,443	4,398	4,939	5,622	6,037			

訪問者数



りぶらまつり 2012



おいでん♪行こまい！りぶら★

11月の17日（土）・18日（日）。第4回目となる「りぶらまつり」が開催されました。「りぶらから誘う！りぶらへ誘う！新しい学びや興味のきっかけを提供！にぎわいと文化啓発を融合させよう！新たな情報発信と知識創造の場づくりを！」の意味を込めて、今年のテーマは「おいでん♪行こまい！りぶら★」でした。りぶらの

テーマである市民の交流と生涯学習へのきっかけ作りの場となるように、さまざまな企画が展開され、多くの市民が楽しい2日間を過ごしました。

幕開けは、Beanzzの楽しく賑やかな演奏。そして、内田新市長の挨拶と林実行委員長の開会宣言で2日間のりぶらまつりが始まりました。館内の会議室やホールはもちろん、お堀通りを含む全館で、りぶらで活動する市民団体や様々な分野の実行委員が工夫を凝らした企画を展開しました。

初日の雨と2日目の強風のために、プロムナードやストリート広場では、予定していた企画の場所移動などもありましたが、スタンプラリーでりぶらをくまなく回っていただけたと思います。フィナーレはホールを使って、2日間で撮影されたまつりの写真をバックに、迫力のある和太鼓の演奏で締めくくられました。





これまでも、これからも

「りぶらまつり」も4回目の開催となり、個々の団体活動を超えてつながりあい、りぶらでの学びを作り活かす持続的なおまつりとして定着してきました。運営面ではまだまだ課題がありますが、少しずつ進化もしています。参加団体の皆様にとっても、来館者の皆様にとっても、「りぶらまつり」は2日間で終わるものではなく、そこで新しいつながりができ、何かが生まれることを期待する「はじまり」の場でもあります。今回の実績と皆さんの思いを大切に、次回につなげていきたいと思っています。

次年度も、6月の説明会から「りぶらまつり2013」の準備が始まります。企画の段階から運営面でのサポーターを募集しています。興味と関心のある方は、りぶらサポータークラブの事務局にぜひ声をかけてください!!

【りぶらまつり2012の記録】

来館者数	12日	7,799人
	13日	7,239人
	合計	15,038人
実行委員団体数	40	
プログラム数	52	
実行委員参加スタッフ数	400人	
ボランティア数	23人	
ストリート広場出店者数	7店	
おみくじ(スタンプラリー参加者)	739人	
景品寄贈	170点	
りぶらグッズ	569点	
ねぶたパレード協力		
ガールスカウト12団	& ボランティア	
準備会参加者数		
① 30人② 29人③ 30人④ 33人⑤ 50人		

【りぶらまつり2012の記憶(アルバム)】はホームページで <http://www.libra-sc.jp>



岡崎図書館未来企画

事業の目的 「図書館を核にした生涯学習施設」である『りぶら』をより活用できる施設にするために、具体的に何をしなければならないかを考え、図書館の未来について考える。

活動実績

開催日	時 間	内 容
5月27日(日)	10:30～11:50	今年度の課題確認。 未来企画の企画する事業への集客無理に人を集めない。 LSCの組織的な活動を通しての集客を目指す。
6月30日(日)	10:30～11:30	図書館まつりについて 本の清掃ボランティアの提案
7月21日(日)	10:30～11:45	図書館まつりのブックレビューについて
8月19日(日)	10:30～11:45	「りぶら講座」でのブックレビューについて
8月25日(日)	18:00～20:00	図書館まつりのブックレビュー グループ室1 10名 それぞれが持ち寄った本を紹介。いろいろ質問が出るのですが、やはり読んだ本人が紹介するので、単なる書評では得られない気持ちのついた「おもしろみ」を感じることができました。
9月30日(日)	10:30～12:00	「りぶら講座」でのブックレビューについて
12月9日(日)	10:30～12:00	「りぶら講座」でのブックレビューについて
12月18日(火)	19:00～20:30	沖方丁の『天地明察』を中心に、様々な本の紹介と、図書館で本を探すことについての話。参加者の発言も促され、好評でした。
1月20日(日)	10:30～11:45	新しい図書館システムについて 『狂言』調べる学習講座について
2月17日(日)	10:00～11:30	「狂言」調べる学習会 グループ室1 13名 竹内氏のお話とインタビューからキーワード作成。キーワードをポストイットに書き出し、ボードに貼り付けチャート図として作成した。次回までに各自がテーマを決めることを伝達した。
3月3日(日)	15:30～16:40	図書館のシステム変更について遠山氏に話を聞く。設備の見学。
3月17日(日)	10:00～11:30	「狂言」調べる学習会 グループ室2 13名 竹内氏への質問も含めながら、一人ひとりのテーマを確認。

- ・昨年に引き続き、「書架整理」をコーディネート。
- ・8月末から「本の清掃」をコーディネート。
- ・「本の清掃」は、9月から毎月2回（第1・第3木曜日 10:00～11:30）実施。
「図書館まつり」や「りぶらまつり」でも実施し、「あおい号」で使用される図書を、
毎回200冊～300冊を清掃してきました。
参加人数などは、「サポーターシステムを考える会」のデータをご参照ください。

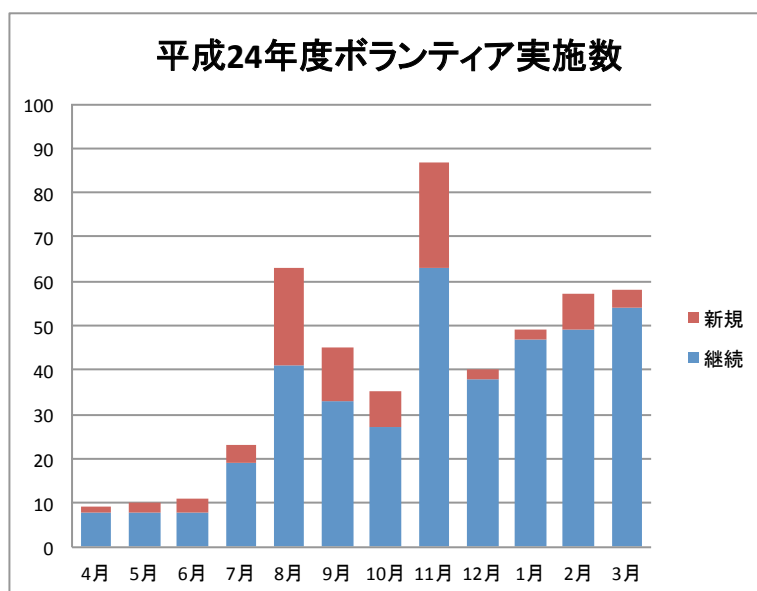
サポーターシステムを考える会

事業の目的

サポーターシステムを考える会では、サポータークラブの会員とボランティアの意義、仕事内容の区別や差について検討を重ね、会員もボランティアもともにりぶらをサポートするものであるので、大きくりぶらサポーターとすることがよいと運営委員会に提言した。

活動実績

参加事業名	開催日	回数	継続	新規	合計
いきものみつけ	毎月	11	11		11
シネマ・ド・りぶら	隔月	5	16	1	17
りぶらまつり	11月	1	19	13	32
外国人のど自慢	2月	1		7	7
子ども遊びWS	8月	1	15	11	26
七夕飾り	7月	1	4		4
書架整理	随時	221	189	32	221
歩行支援器具	7月	1	5		5
本の清掃	月2回	18	136	28	131
合 計		260	395	92	487



- ・今年度は書架整理の周知が進み、継続してボランティアが増えた。また、本の清掃を楽しく実施することにより、継続して来てくれた。
- ・8月は子ども遊びワークショップ、11月はりぶらまつりでボランティア従事者が多い。
- ・LSCの事業の周知が進むことにより、ボランティアに来てくれる人が多くなり、その時の充実感によって、来年度につながっていくものと思われる。

岡崎市生涯学習シンクタンク

事業の目的

『第2次岡崎市生涯学習推進計画』をいかに実施するかを考え、よりよい学びの場づくりや、学習機会の創出を目指して話し合い、市内の生涯学習の充実をはかる。

活動実績

【生涯学習シンクタンク】

開催日	時間	場所	参加人数
4月17日（火）	14:00～15:30	会議室 102AB	10
6月19日（火）	14:00～15:00	活動コーナー	5
8月21日（火）	14:00～15:30	活動コーナー	6
10月16日（火）	14:00～15:30	活動コーナー	6
12月4日（火）	13:30～15:00	活動コーナー	6
12月18日（火）	13:30～15:00	活動コーナー	8
1月22日（火）	13:30～15:00	活動コーナー	6
2月26日（火）	13:30～15:00	活動コーナー	8

【岡崎市はじめましてサロン】

開催日	時間	場所	関係者	一般
5月15日（火）	14:00～16:00	会議室 102AB	15	6
7月17日（火）	14:00～16:00	会議室 102AB	11	6
9月18日（火）	14:00～16:00	会議室 102AB	9	6
11月20日（火）	14:00～15:30	会議室 102AB	7	2
1月20日（火）	14:00～15:00	活動コーナー	6	1
3月19日（火）	14:00～15:00	活動コーナー	7	0

【りぶら講座】

「りぶら講座」の目的

- ① りぶらでの生涯学習の推進をすること
- ② 市民の皆さんの学びのきっかけをつくること
- ③ 市民・団体・事業者が持つ「特技」を市民の皆さんの学びに活用すること
- ④ りぶら施設の活用を進めること

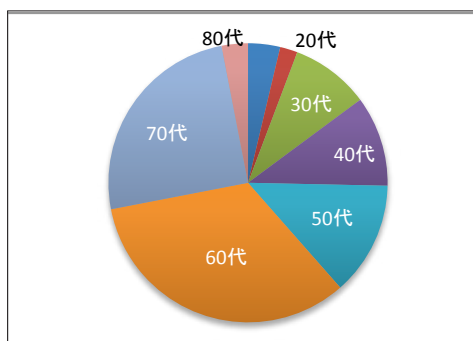
「りぶら講座」の実施報告

	開催日	講座数	受講者数
前期	6/19（火）～10/16（火）	36	417
後期	12/18（火）～3/24（日）	69	868
合計		105	1,285

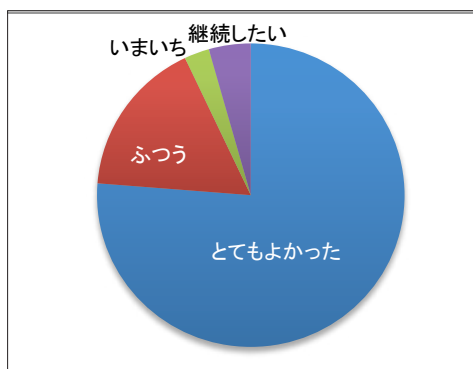
※ 前期講座数のうち、2つは暴風警報発令のため中止になりました。

平成 24 年度前期「りぶら講座」 参加者アンケート

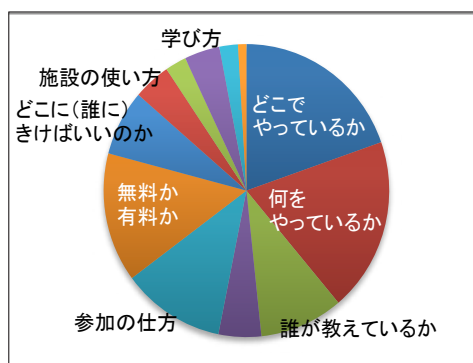
参加者の年代



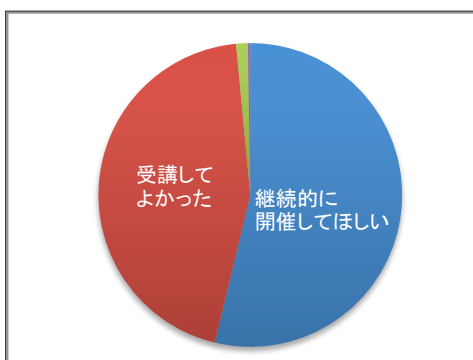
受講した講座の内容について



生涯学習の情報について知りたいことは何ですか



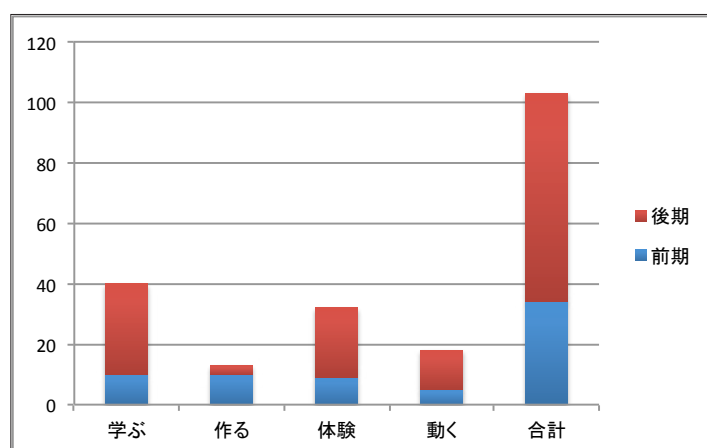
りぶら講座の開催について



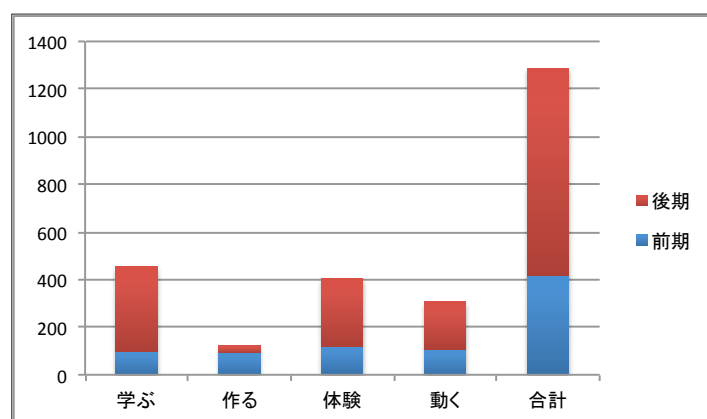
24 年度「りぶら講座」の解析

講座の内容を「学ぶ」「作る」「体験」「動く」の4つに分類し、それぞれの講座数と参加者数をグラフに示しました。

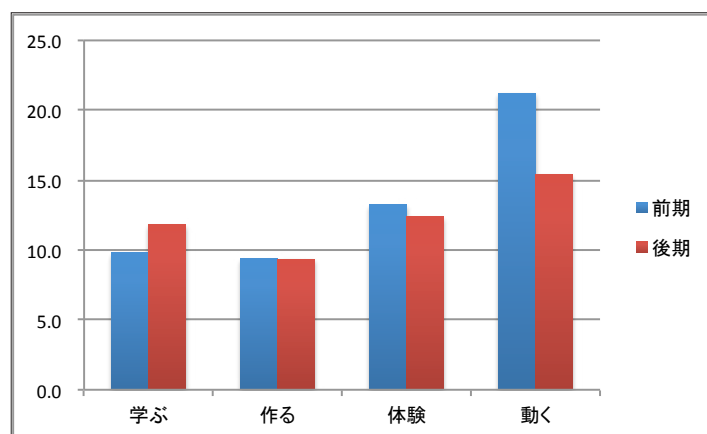
講座数



参加者数



参加者数平均



シネマ・ド・リぶら

事業の目的

図書館の映像資料を活用し、スクリーンでの映画鑑賞機会を作るとともに、映画にまつわる関係資料の案内をして、図書館資料の活用を図る。

活動実績

【上映会】リぶらホール

開催日	上映回数	上映作品	参加人数
4月19日(木)	1回	『バルカン超特急』	261人
6月21日(木)	1回	『雨に唄えば』	280人
8月23日(木)	1回	『黄色いリボン』	300人
10月18日(木)	2回	『ヘッドライト』	306人
12月20日(木)	2回	『グレンミラー物語』	384人
2月21日(木)	2回	『4分間のピアニスト』	396人
6日	9回	合計	4,627人

【関連資料のテーマ展示】 上映映画にまつわる関連資料を、上映会前週(木)から後週(火)迄、ポピュラーライブラリーで展示した。

【映画サロン】 上映会当日の上映開始前、終了後に、ホールホワイエにて来場者の交流の場としてのサロンを開設した。

【上映会の計画・運営】

- ・各上映会に先立ち、市民活動センターでスタッフによる諸計画、懸案事項の打合せ及び上映会準備の情報交換を行った。
- ・各上映会終了後、スタッフ及びボランティアで気付き事項等の情報交換を行った。
- ・6月及び8月の上映会時、一般参加者対象に、上映映画の選定方法など、上映会がどのように運営されているかについてQ&A方式のプレゼンテーションを実施し、併せて平成22年度に続き2度目のアンケートを実施した。
- ・上映開始前のスクリーンを利用した広報プレゼンテーション(LSC活動の紹介、次回予告、お願い等)の充実を図った。
- ・「定員以上の入場希望者」への対応策として10月上映会から「午前、午後2回上映」に移行し、順調に推移している。

【広報資料・配布資料作成】 上映会ごとに広報用の案内チラシ、来場者配布用の「コラム・ド・シネマ」を作成した。

平成25年度の予定

木曜日

① 10:30～

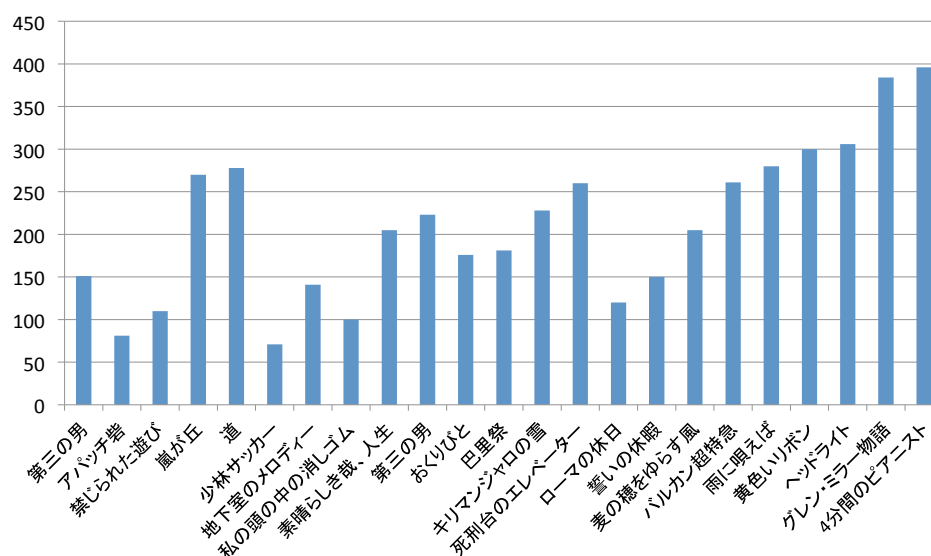
② 14:00～

開催予定	上映予定	開催予定	上映予定
4/18	『夜の騎士道』	10/17	『ローマの休日』
6/20	『西部の男』	12/19	『それでも生きる子供たちへ』
7/18	『禁じられた遊び』	1/16	『道』
8/22	『父と暮らせば』	2/20	『そして誰もいなくなった』

シネマ・ドリぶら上映会参加者数（観客＋スタッフ）の推移

No.	上映作品	製 作	上映日	参加者(人)
第1回	第三の男	(1949年 イギリス)	2009/10/8	151
第2回	アパッチ砦	(1948年 アメリカ)	2009/12/10	81
第3回	禁じられた遊び	(1951年 フランス)	2010/3/11	110
第4回	嵐が丘	(1939年 アメリカ)	2010/4/10	270
第5回	道	(1954年 イタリア)	2010/6/10	278
第6回	少林サッカー	(2001年 香港)	2010/8/19	71
第7回	地下室のメロディー	(1963年 フランス)	2010/10/7	141
第8回	私の頭の中の消しゴム	(2004年 韓国)	2010/12/2	100
第9回	素晴らしき哉、人生	(1946年 アメリカ)	2011/2/3	205
第10回	第三の男	(1949年 イギリス)	2011/4/14	223
第11回	おくりびと	(2008年 日本)	2011/5/12	176
第12回	巴里祭	(1933年 フランス)	2011/7/14	181
第13回	キリマンジャロの雪	(1952年 アメリカ)	2011/8/25	228
第14回	死刑台のエレベーター	(1957年 フランス)	2011/10/13	260
りぶら祭	ローマの休日	(1954年 アメリカ)	2011/11/13	120
第15回	誓いの休暇	(1959年 ロシア)	2011/12/8	150
第16回	麦の穂をゆらす風	(2006年 イギリス)	2012/2/16	205
第17回	バルカン超特急	(1938年 イギリス)	2012/4/19	261
第18回	雨に唄えば	(1953年 アメリカ)	2012/6/21	280
第19回	黄色いリボン	(1949年 アメリカ)	2012/8/23	300
第20回	ヘッドライト	(1955年 フランス)	2012/10/18	306
第21回	グレン・ミラー物語	(1953年 アメリカ)	2012/12/20	384
第22回	4分間のピアニスト	(2006年 ドイツ)	2013/2/21	396

(人) 上映作品別参加者数 (2009/10～2013/2)



りぶら いきものみつけ隊



りぶらいきものみつけ隊は、りぶら周辺のいきものに触れること・いきもの存在に気付く事で生物多様性を知らず知らずのうちに学ぶことを目的に活動を継続しています。

りぶらいきものみつけ隊では、平成24年度の1年間で「りぶらまつり」があった11月を除く11回（下記表を参照）、自然観察や身近な生き物に関する勉強会等を行いました。

毎回20人～30人の参加者がありました。アオバズクの営巣を確認したり、「チリメンモンスター」の回では、年齢に関係なく参加者全員が分別前のチリメンジャコの中に混ざっている「いきもの」を一生懸命探したり、毎回参加者全員で和気あいあいと、色々ないきものに触れていました。

日にち	時間	会場	テーマ
4月1日(日)	10:00~12:00	創作室	春のおとずれを探してみよう2
5月13日(日)	10:00~12:00	会議室302	夏鳥の渡り
6月10日(日)	10:00~12:00	会議室302	バードコールを作ってみよう!!
7月8日(日)	10:00~12:00	創作室	チリメンモンスター 2
8月5日(日)	10:00~12:00	創作室	びん道を仕掛けてみよう
9月8日(土)	10:00~12:00	会議室101	なにがいるかな?りぶら周辺の自然観察
10月6日(土)	10:00~12:00	創作室	めざせ ダンゴムシマスター!!
12月16日(日)	10:00~12:00	和室	冬のいきもの・・・野鳥をさがそう!!
1月6日(日)	10:00~12:00	会議室101	「めだかじゃらし」を作って、あそんでみよう!!
2月2日(土)	10:00~12:00	創作室	チリメンモンスター 3
3月16日(土)	10:00~12:00	会議室201	春のおとずれを探してみよう

また活動日以外では、「いきものみつけ」のホームページに報告することで、個々に「いきものみつけ活動」を継続してもらうことを推奨してきました。平成25年3月31日現在での団体（コミュニティ）ランキングでは、全国2位に着けています。



冬のコンサート

事業の目的

多様な年代や活動の利用者がりぶらで交流し、新しいつながりを作るようにするため、施設を最大限活用した協働企画を募集・提案・実施する。

開催日時 :12月15日(土) お堀通り1階

事業の成果

多くの来館者の皆様が、澄んだ大人の歌声、童心に戻った童謡、若者のはずんだ歌声を楽しみました。

10:00～10:30

童謡 すみれの会

「冬の星座」
「サンタは街にやってくる」
「花は咲く」



11:00～11:30

岡崎市 PTA コーラス連盟合唱団

「Stand Alone」
「防人の詩」
「クリスマスソングメドレー」



12:00～12:30

ワンボイス岡崎

「My life is in your hands」
「サンタが街にやってくる」他2曲



14:00～14:30

岡崎城西高校合唱部

「夜空ノムコウ」
「ワインディングロード」
「栄光の架け橋」他



外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.3

2/3（日）、りぶらホールにて「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会」が開催されました。3回目となった今大会、出演者は14名。皆さんの熱唱が会場を熱くさせました。また、ゲスト、審査員、司会者、スタッフ（14名）、ボランティア（7名）、取材（5名）、来場者（約130名）、合計約180名が、それぞれの場所で交流を深めることができました。

【司会】新井伸子

【審査員】

柏木典子（岡崎音楽家協会副代表）
太田義男（市民協働推進課国際班主幹）
香田ともこ（NPO 岡崎都心再生協議会）
浅井寮子（（株）リバーシブル編集長）
内田 明（LSC 副代表）

【ゲスト】靖芳さん（前年度優勝者）



参加賞・入賞賞品として、りぶらサポータークラブからりぶらグッズと図書券、「viva おかざき！！」から優勝者賞品としてホットプレートの提供がありました。

出演者・曲目リスト&結果一覧

No.	氏名	出身国	曲目	結果
1	パトリック	香港	北の漁場	参加賞
2	グスタボ江川	ブラジル	duet	参加賞
3	ジャージェ	中国	なごり雪	参加賞
4	杉浦ユリセス	フィリピン	道	参加賞
5	セルビトマリージョイ	フィリピン	ストーリー	参加賞
6	森口モニカ	フィリピン	愛のままで ベサメムーチョ	審査員賞
7	張月美（チョウツキミ）	中国	童神	参加賞
8	王耕蘋（オウケンピン）	台湾	ジュリアに傷心	参加賞
9	シャアイチュ	台湾	This Love	参加賞
10	徳永ジュリ	ブラジル	I LOVE YOU が言えなくて SAKURA, I love you?	入賞
11	リュウエイサク	中国	夕焼けの歌 恋歌綴り	入賞
12	市川ガブリエラ	ブラジル	みんな空の下 あなたのキスを数えましょう	入賞
13	戸井カロリネ	ブラジル	サヨナラ やさしいキスをして	優勝
14	林固磐（リングパウ）	中国	グッバイデイズ	参加賞



司会：新井伸子さん



決勝の審査中！ 真剣です！

アンケート・感想など（回収：47）

よかった：14	よかった／つづけてほしい：20	つづけてほしい：11
まあまあ：1	いまいち／つづけてほしい：1	なくてもよい：0

- ・歌詞か出場者の写真を映して欲しい。映像があった方が楽しい。
- ・皆さん日本語がうまく、声の質がよいのに驚いた。ぜひ続けて下さい。
- ・日本語もうまく、感情表現も豊かでとてもよかったです。
- ・これは楽しい！ もっと他の国の人の参加も。
- ・企画自体はとても面白い。ただ司会者にはもう少し頑張ってください。少々物足りない。
- ・ゲストもよかったです。
- ・勇気づけられました。
- ・宣伝が必要かと思います。三河大会に発展したらいいですね。
- ・皆さんとてもお上手で、日本を愛して下さっていて良かったです。
- ・親近感が湧きました。
- ・曲の紹介のときに、歌手名もいってもらえるといい。
- ・決勝進出の皆さんの歌唱力が素晴らしい。さらに日本人との交流を深めてもらいたい。決勝に出られなかった方々も、努力がうかがえて素晴らしかった。
- ・日本の歌を一生懸命歌っている姿に好感が持てました。モニカさんの歌に感動して涙がこぼれました。
- ・日本人が格好つけて歌うよりずっとよかったです。ジャジェさんの声、モニカさんの歌、張さんのチャイナドレス、すてきでした。ワールドレクチャーの日と重ならない方がよい。2時までしか聞けない。
- ・フルコーラスは長いのでは？インタビューがもう少し控えめでも。
- ・司会者のインタビューに好感が持てた。
- ・日本語を覚えてくれてありがとう！
- ・みんな上手、一生懸命！
- ・ド演歌や昔の歌がなくて残念です。パフォーマンスもないし、カラオケ会と変わらない。地味。もっと華やかさが欲しい。



優勝：戸井カロリネさん



審査員賞：森口モニカさん



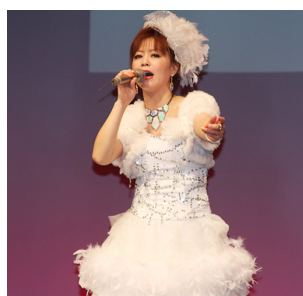
入賞：徳永ジュリさん



入賞：リュウエイサクさん



入賞：市川ガブリエラさん



ゲストの靖芳さん



スタッフの皆さん

りぶらを活用① 「地域活動の心得を学ぼう」

事業の目的 地域活動参加の心得や協働事業の進め方など、ともすれば共益活動になりがちな活動を、どのように公益活動につなげるかについて学ぶ。

活動実績

日 時：9月9日〈日〉午前10：00～12：00

場 所：会議室101

講 師：松下典子氏（NPO法人・地域福祉サポート前代表理事）

共 催：まちの達人西三河の会

松下氏が立ち上げた「ゆいの会」発足のお話から、この20年間の社会の有り様を、福祉ボランティアの視点から語られました。20数年前には、単なるボランティア活動ではなく社会の中で認められた法人として、市民活動が地域の中で制度の仕事ができるなどということは考えられませんでした。



「そのNPOセクターが、これまで既存セクターの組織を繋ぐ役割をして、話し合う場所を共有するプロセスが『協働』。それは、どういう風にして新しい公共や新しい地域社会にしていくか、というプロセスを共有するための作業です。委託や補助を目的に、行政が出す事業をすることではありません。『協働』の関係の中でのマネジメント力が必要です。

また、資源の活用。これまである資源の見方を、もう一つ私たちの目線・生活目線に変えてみてください。施設の機能というものは、私たち住民に合わせて住民のためにある施設です。縦割りではなく、これから地域の包括的な、拠点にさせていただくとよいと思っています。」

松下氏の、経験をふまえ未来を見据えたお話は、「りぶら」を箱物にせず、大いに活用するために組織した我々「りぶらサポータークラブ」の目的を思い出させてくれるものでした。

そして、そのために必要なのが「市民活動のネットワーク化」。話し合う場をそれぞれのテーマに合わせて作っていく中で、市民は一体何を求めているかという全体の課題を、行政やNPOネットワークの中間組織が提案提言して欲しい、ということでした。

りぶらサポータークラブ

「りぶらを活用」協働事業

地域活動の心構えを学ぼう！！

あなたの出番を 待っているひとがいる！

地域活動参加の心得、協働事業の進め方など、
ともすれば共益活動になりがちな活動を
どのように公益活動につなげるかについて学びます。

■ 講 師：松下典子氏
(NPO法人・地域福祉サポート前代表理事)

■ 日 時：9月9日（日）10:00～11:30

■ 会 場：りぶら会議室101

■ 定 員：40名

■ 申込み：8月23日より（先着順）

■ 参加費：500円

■ 主 催：りぶらサポータークラブ・まちの達人西三河の会

問合せ：りぶらサポータークラブ事務局
市民活動センター TEL：0564-23-3114
E-mail：info@libra-sc.jp

りぶらを活用② 大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」

事業の目的

平成24年10月8日に、奈良篠基会（ならしのきかい）の竹内寛代表に岡崎での狂言の公演を打診したところ、快く受けていただいた事から準備が始まった。協議の過程で、狂言に馴染みの薄い岡崎市民のために、狂言の説明や所作の体験など、カルチャー的な内容も踏まえての狂言鑑賞会となった。

活動実績

今回のイベントの開催に伴う資金については、りぶらサポータークラブとして今後のことも考え、協賛金とチケット収入を充て実施することになった。当初予定した協賛金収入の目処も立ち、ゆっくりながら前売りのみで当日の公演代の目処も立ち、無事3月31日を迎えることができた。

3月31日の当日は、18時開場 18時半開演にもかかわらず、演者の皆様は東京・京都・奈良から車で16時には全員集合し、当日の打合せの後、17時から開場作りとなった。

前売り券入場者数：196名
当日券入場者数：14名
招待券入場者数：34名
合計：244名＋スタッフ



事業の成果

18時半からの公演では、観客の多くから笑いの絶えない素晴らしい時間を過ごすことができ、公演終了後も、演者との記念撮影など、心から大藏流狂言「りぶら狂言教室・狂言鑑賞会」を楽しむことができた。



大藏流狂言
りぶら狂言教室
狂言鑑賞会

本物の狂言に触れて学んで、大いに笑いながら
伝統文化に親しみましょう！

日 時：平成25年3月31日(日)18:30～20:00 18:00開場
会 場：岡崎市図書館 交流プラザ リぶらホール（愛知県岡崎市康生通り西4丁目-7番地）
鑑賞料：前売 1,500円（平成25年2月14日発売予定）当日1,800円
●狂言に興味をお持ちで、狂言を学んでみたいと思っている小学生・児童10名様をご招待いたします。お申し込みください。

プログラム

- 1. 狂言笑学校** …… 能舞台の秘密 狂言独特の演出 / 竹内寛
- 2. 狂言観賞** …… 「附子」 茂山良暢（しげやまよしのお）
新島健人（にいしまけんと）
増田建（ますたけし）
「盆山」 大藏基誠（おおくらもととなり）
竹内寛（たけうちひろか）
後見・働き 杉本久（すぎもとひさし）
- 3. 笑いま専科** …… 狂言の所作と台詞の体験 / 大藏基誠・茂山良暢
（当日の参加者有志のに協力を得て）

お問い合わせ

岡崎市図書館 交流プラザ市民活動センター内 「りぶらサポータークラブ」事務局
「りぶら狂言教室実行委員会」 担当：杉浦まで

TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142

主催：りぶらサポータークラブ・りぶら狂言教室実行委員会
後援：岡崎市・岡崎市教育委員会・岡崎商工会議所・岡崎観光協会



平成 25 年度の活動方針

【サポーターの在り方について】

継続的な参加者のある書架整理や本の清掃は、気軽に参加できるボランティアです。また、「シネマ・ド・リぶら」や「リぶら いきものみつけ隊」の活動にも、継続的に参加して下さるボランティアがいらっしゃいます。一方で、会費は払っているけれど活動や事業には参加していないという方も。この状況を踏まえ、会員として関わっているか否かということではなく、「みんなりぶらのサポーター」として、りぶらを支援する会員のあり方と会費を見直すとともに、会則の改正を行いたいと考えています。

【事業案について】

ほとんどの事業が、行政との協働事業として周知されてきました。よりバージョンアップさせる方向で、事業を推進していきたいと思います。また、LSC の特性でもある機動力と企画力を活かし、その都度必要と思われる事業を考えたいと思います。

区分	事業		開催予定日	担当
運営	運営会議		月1	山田
	会員研修		随時	
	広報	情報誌編集	奇数月1日発行	戸松
		ホームページ運用・更新	随時	
		りぶらグッズ	随時販売	
	りぶらまつり		6/9 (日) 7/14 (日) 8/4 (日) 9/15 (日) 10/6 (日) 11/10 (日) 12/1 (日) 開催日：11/16・17 (土・日)	杉浦
	サポーターマネジメント		第1月曜日 13:30～	山田
活用	岡崎図書館 未来企画	企画・提案	随時	戸松
		調べる学習会 ブックレビュー	随時	
		書架整理／本の清掃	随時／第1・第3木曜日10:00～	山田
	生涯学習	シンクタンク	第3火曜日 「はじめましてサロン」終了後	戸松
		岡崎市はじめましてサロン	第3火曜日 13:30～15:00	
		りぶら講座	前期 (6月～8月) 中期 (9月～11月) 後期 (12月～3月)	内田
	シネマ・ド ・りぶら	映画上映会	4・6・7・8・10・12・1・2月 第3木曜日 ①10:30～ ②14:00～	森崎
		映画講座	検討中	戸松
	りぶら いきものみつけ隊		月1 10:00～12:00	杉浦
	冬のコンサート		12/21 (土)	山田
	外国人が日本語の歌を歌うのど自慢大会		2/2 (日)	戸松
	狂言勉強会・鑑賞会・お稽古会		検討中	杉浦
参画	子ども遊びワークショップ		8/3・4 (土・日)	山田
	七夕飾り		7/2 (火)	
	図書館まつり		8/22～25 (木～日)	
派遣	図書館交流プラザ運営協議会		山田・森崎	
	図書館協議会		戸松	
	図書館交流プラザ自主事業実行委員会		村松	